

## 令和4年 年頭あいさつ

新年あけましておめでとうございます。令和4年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

平素は、当協会の事業活動に対し格別のご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、一昨年からの新型コロナウイルス感染拡大の影響を引き続き受けた一年でした。新たな変異株による感染拡大が懸念されるものの、ワクチン接種の伸展等により、ようやく落ち着きを取り戻しつつあるのではないのでしょうか。

さて、近年は、激甚化する大規模自然災害が全国各地で発生しており、昨年も7月と8月には、集中豪雨により多くの尊い生命が失われるとともに、社会基盤にも甚大な被害が生じました。また、高度成長期に整備された道路・橋梁・水道等の社会基盤の老朽化が進み、その長寿命化対策、改築など国土強靱化に向けての社会資本整備の着実な推進が求められております。政府においては、15兆円規模の防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策の着実な推進と、安定的・持続的な公共事業予算が確保されることを、強く期待しております。

一方、我々地域建設業には、地域の安心・安全を守る担い手としての使命があります。その使命を果たすためにも、経営の安定化と担い手の確保・育成に、積極的に取り組んでいかなければなりません。

当協会では、建設キャリアアップシステムの普及・利用促進を図るとともに、長時間労働の是正や賃金・休日等労働条件の改善、あらゆるハラスメントの根絶に向けた取り組みなど、働き方改革を推進するための各種事業を、引き続き展開してまいる所存です。

結びにあたり、日本の文化首都京都では、現在、文化庁が令和4年度中の業務開始に向け、着々と準備が進められております。千年の歴史に培われた京都に、新たな歴史が刻まれようとする希望の年でもあります。今年こそコロナ禍が収束し、皆様にとりまして真に希望の年となりますとともに、皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして年頭のご挨拶といたします。

一般社団法人京都府建設業協会  
会長 小崎 学